

議会及び議員の活動評価と目標を公表します！



下川町議会基本条例では、議会と議員の活動の内容を公表し、議会や議員活動の活性化を図るとともに活動状況を議会白書としてまとめ、それぞれ自己評価し、その結果などを1年ごとに公表することとしています。

今回は、令和7年の目標とその評価、**令和8年(令和8年5月～令和9年4月)**の目標の一部を公表します、詳細については、今後発行する議会白書に掲載しますので是非ご覧ください。

令和7年目標 「議員とフリートーク」などを通じて町民の要望などの把握や地域が抱える課題を議会全体で共有するとともに、その課題の解決に向けて政策提言を行う。

令和7年評価 町民からの要望など個別案件については速やかに対応し、解決につながったものも多くあったが、政策提言までには至らなかった。今後もより幅広く町民の意見に耳を傾けるとともに引き続き調査や研究を行っていく。

令和8年目標 3月定例会議で設置された「下川町議員のなり手不足対策特別委員会」において、議員報酬や政務活動費の在り方などについて、町民との意見交換などを行いながら相互の理解を深め、議員のなり手不足解消につなげる。



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

令和7年目標 議会、議員を身近な存在として感じてもらえるよう心掛けつつ、議会を代表する立場としての緊張感を自覚して議員活動に取り組む。

令和7年評価 様々な場面において、議会、議員を身近な、親しみやすい存在として感じてもらえるよう心掛けた。「議会を代表する立場」をどう体現すべきかを考える1年だった。

令和8年目標 議会活動に関する情報発信や意見交換の機会を増やす。

令和7年目標 親しみやすく接しやすい議員活動を通じて町民の要望などを把握し、速やかな課題解決に繋げる。また、自身の議員活動などを検証する活動報告会を実施する。

令和7年評価 親しみやすく接しやすい議員活動は、ほぼ実践できたと思っている。また活動報告会は、予定どおり実施することができた。

令和8年目標 親しみやすく接しやすい議員活動を通じて町民の要望や地域が抱える課題を把握し、一般質問又は直接的な町への働きかけなどにより、速やかな課題解決に繋げる。また、昨年度実施した活動報告会を今年度も実施する。



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員